



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月4日
東

上場会社名 株式会社サンエー

上場取引所

コード番号 2659

URL <https://www.san-a.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 豊田 沢

問合せ先責任者(役職名) 経営企画部長

(氏名) 玉寄 雅人

TEL 098(898)2230

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日~2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	59,057	2.4	4,101	△0.8	4,337	0.9	2,922	5.5
2025年2月期第1四半期	57,662	3.7	4,134	16.6	4,300	17.2	2,769	16.8

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 3,143百万円(6.3%) 2025年2月期第1四半期 2,957百万円(18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	47.25	—
2025年2月期第1四半期	44.79	—

(注) 2024年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	204,175	152,282	72.7
2025年2月期	191,224	154,546	78.7

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 148,487百万円 2025年2月期 150,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	124,495	3.2	9,030	△1.5	9,359	△0.8	6,060	2.1	98.01
通期	247,876	4.5	17,227	1.8	17,796	1.9	11,005	△4.0	177.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) ー、除外 一社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期1Q	63,963,308株	2025年2月期	63,963,308株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	2,125,856株	2025年2月期	2,125,856株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期1Q	61,837,452株	2025年2月期1Q	61,824,190株

(注) 2024年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第1四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年3月1日～2025年5月31日)におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復が続いております。その一方で、資源・エネルギー価格の高騰や円安の進行等に伴う原材料費の上昇など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

沖縄県の小売業界におきましては、入域観光客数が前年同期を上回って推移しており、国内観光客は過去最高を更新、外国人観光客も台湾や韓国を中心に回復し、今後も増加が見込まれております。一方で、継続的なインフレ下での商品の値上げにより、お客さまの節約志向が高まっており、人手不足や各種コストの増加、業態の垣根を越えた競争の激化等、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社の経営方針を「あるべき姿」とし、人財力や仕組力、商品力、店舗力の向上に取り組むとともに、引き続き企業理念の浸透、七大基本(クリンリネス、鮮度と品質、品揃え、価格、陳列技術、サービス、正しい表示)の徹底、既存店の活性化、効率化を図る等、お客さま満足度の向上に努めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益(売上高及び営業収入)590億57百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益41億1百万円(同0.8%減)、経常利益43億37百万円(同0.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益29億22百万円(同5.5%増)となりました。

【人財力の向上】

正社員、パートナー社員(パート)、アルバイト社員に対する社員研修を積極的に実施し、企業理念の浸透や七大基本の徹底、事業部研修(県外や海外のメーカーや産地・工場の視察研修、食品加工センターと店舗社員の交流研修等)、新任店長研修を行いました。理念教育と実務研修の両輪により、持続性ある企業経営に向けた人財育成に取り組んでおります。

【仕組力の向上】

食品館においてフルセルフレジや電子棚札、外食レストランにおいてタブレットオーダーシステム・配膳ロボット等の効率機器を積極的に導入し、接客対応時間の増加や働き方改善に繋がるよう取り組んでおります。当期(2026年2月期)につきましては、食品館において電子棚札を20店舗、フルセルフレジを24店舗へ導入を予定しております。

【商品力、店舗力の向上】

食料品につきましては、独自性商品(「くらしモア」「ローソンオリジナル」「成城石井」の各商品等)の販売を強化しております。また、食品館において試食販売を強化し、商品価値を伝えることで売上点数アップにつながるよう取り組んでおります。衣料品につきましては、沖縄独自の文化である「かりゆしウェア」の売上が豊富な品揃えにより好調に推移しております。国内・海外からの観光客の増加に伴い、観光土産商材の売上や免税売上も伸長しております。

既存店につきましては、4月に「V21食品館我如古店」(沖縄県宜野湾市)をリニューアルいたしました。なお、6月には「石垣シティ」(沖縄県石垣市)を建替えし新館をオープンする等、今後も既存店の活性化に積極的に取り組んでまいります。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

小売事業

小売におきましては、3～4月は平均気温が昨年より低く季節商材の売れ行きが厳しかったものの、5月は気温が上昇したことから既存店売上が堅調に推移し、営業収益は568億22百万円(前年同期比2.3%増)、セグメント利益は35億95百万円(同3.5%減)となりました。

コンビニエンスストア事業(以下「CVS」という。

CVSは、FC店舗を2店舗開店したことや、既存店が好調に推移し、営業収益は22億42百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益は5億5百万円(同23.4%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して129億51百万円増加し、2,041億75百万円となりました。主な要因は、当第1四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったこと等により現金及び預金が102億32百万円、売掛金が20億31百万円、商品及び製品が8億44百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して152億15百万円増加し、518億93百万円となりました。主な要因は、当第1四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったこと等により買掛金が100億21百万円、賞与引当金が10億77百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して22億63百万円減少し、1,522億82百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が20億24百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月7日に開示しました「2025年2月期 決算短信」で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,843	70,075
売掛金	7,265	9,296
商品及び製品	15,180	16,025
原材料及び貯蔵品	475	462
その他	3,053	2,782
流動資産合計	85,818	98,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,138	48,076
土地	35,290	35,290
建設仮勘定	4,802	5,642
その他(純額)	3,956	3,906
有形固定資産合計	93,188	92,916
無形固定資産	801	787
投資その他の資産	11,415	11,829
固定資産合計	105,405	105,533
資産合計	191,224	204,175
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,651	21,673
未払法人税等	2,259	1,680
賞与引当金	1,553	2,631
その他	14,131	18,742
流動負債合計	29,596	44,727
固定負債		
退職給付に係る負債	2,675	2,732
資産除去債務	646	649
その他	3,759	3,783
固定負債合計	7,081	7,165
負債合計	36,678	51,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,720	3,720
利益剰余金	147,224	145,200
自己株式	△4,222	△4,222
株主資本合計	150,446	148,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	101
退職給付に係る調整累計額	△23	△35
その他の包括利益累計額合計	61	66
非支配株主持分	4,038	3,794
純資産合計	154,546	152,282
負債純資産合計	191,224	204,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	53,120	54,275
売上原価	36,187	37,111
売上総利益	16,932	17,163
営業収入	4,542	4,781
営業総利益	21,474	21,945
販売費及び一般管理費	17,339	17,844
営業利益	4,134	4,101
営業外収益		
受取利息	2	24
受取配当金	4	74
債務勘定整理益	56	65
その他	114	83
営業外収益合計	177	246
営業外費用		
支払利息	6	6
その他	5	4
営業外費用合計	11	10
経常利益	4,300	4,337
特別損失		
固定資産除却損	15	25
特別損失合計	15	25
税金等調整前四半期純利益	4,284	4,312
法人税、住民税及び事業税	1,209	1,576
法人税等調整額	133	△403
法人税等合計	1,343	1,173
四半期純利益	2,941	3,139
非支配株主に帰属する四半期純利益	172	217
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,769	2,922

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益	2,941	3,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	16
退職給付に係る調整額	3	△11
その他の包括利益合計	15	4
四半期包括利益	2,957	3,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,784	2,926
非支配株主に係る四半期包括利益	172	217

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	小売	C V S	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	53,710	2,114	55,824	—	55,824
その他の収益	1,838	—	1,838	—	1,838
外部顧客への売上高	55,548	2,114	57,662	—	57,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	6	△6	—
計	55,555	2,114	57,669	△6	57,662
セグメント利益	3,724	409	4,134	0	4,134

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	小売	C V S	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	54,889	2,242	57,131	—	57,131
その他の収益	1,926	—	1,926	—	1,926
外部顧客への売上高	56,815	2,242	59,057	—	59,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	6	△6	—
計	56,822	2,242	59,064	△6	59,057
セグメント利益	3,595	505	4,101	0	4,101

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	1,639百万円	1,498百万円